

## 普及活動情勢報告（令和5年8月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### いの町吾北地域のユズの高品質生産を目指して ～JA高知県コスモス柚子部会がドローンで省力防除を実施～



7月21日、いの町吾北地区の2戸の農家でドローンによるユズの黒点病防除を実施しました。JA高知県コスモス柚子部会では、青果率の向上を目指す一方で労働負荷低減に取り組むこととしており、中でも、傾斜地における夏期の防除作業は、極めて労働負荷が大きく、生産者の負担となっています。

そこで、これを解決すべく急傾斜地でのドローン防除を初めて実施しました。生産者からは夏場の防除作業から解放されて高評価でした。

農業改良普及課では、ドローンの防除体系の作成やスマート農業への取り組みを支援し、青果率の向上と省力化を推進していきます。

### ユズの改植に向けて ～(農)上東定例会で改植スケジュールを検討～



7月26日、(農)上東が旧上東小学校で定例会を開催し、役員5人が参加しました。農業改良普及課は、ユズの改植に向け、3月定植から逆算してのスケジュールや、ユズの成木や幼木の栽培視察研修について説明を行いました。

参加者からは、植穴への肥料やユズ園の鳥獣害対策について質問が出ました。

検討を行うことで、改植スケジュールや人員確保等意識付けを図ることができました。

農業改良普及課は、今後も法人のユズ園改植に向けて支援していきます。

### ドローン空撮データに基づく適正肥培管理に向けて ～JA高知県土佐市生姜部会が栽培講習会を開催～



7月28日、JA高知県土佐市生姜部会が、JA高知県土佐市戸波支所で栽培講習会を開催し、生産者60人が参加しました。

農業改良普及課は空撮データに基づいた生育診断について説明しました。

生産者からは、「適正肥培管理が出来ればコスト低減に繋がる」「品質の良い生姜作りの助けになるといい」などの意見が出されました。

意見交換の場を設けたことで、適正肥培管理により品質向上や経費削減に繋がることが理解されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、スマート農業の導入・推進について検討していきます。

土佐市のピーマンの担い手確保に向けて  
～高知市春野町の先進地視察研修を実施～



8月8日、JA及び土佐市産業振興課の職員6人で、先進的に担い手確保・育成の取組を行う高知市春野町の事例を学ぶため、視察研修を行いました。

土佐市では「ピーマンのまち土佐市構想」の実現に向け、関係機関で取り組んでおり、農業改良普及課が企画・調整しました。春野町新規就農者育成協議会から、取組内容や工夫した点、課題などを詳細に教わりました。

参加者から「春野町の取組を参考に出来るところから土佐市でも実施し、担い手確保に取り組んでいきたい」との声もあり、とても有意義な研修となりました。

農業改良普及課では、担い手確保・育成の取組を進めていけるよう、今後も関係機関が一丸となって取り組んでいきます。